TITAN Talent info.（順不同）

写真に記載のアカウントが表示されているタレントはアカウントを持っています。コメントの場合はそれぞれの写真上に表示されています。名前で検索してご覧ください。

Twitter　Instagram

爆笑問題（太田光・田中裕二）

テレビ朝日「世界遺産いとしき人々スペイン」（隠岐・ヨルダンを終着点）、TBS「ケンテー・ジャカ丸」（隠岐・THE 7ライブ）、E テレ「0655」「2355」、中京テレビ「太田上田」、TBS ラジオ「爆笑問題カーボーイ」（日曜サンデー）、Abemaｔｖ「奈鹿ＮＩＭＵＲＡ」（日曜サンデー）、FOD「爆ポッ」（問題）にて新作トーク配信中。ウルトラマンフェスティバル2019公式サポーター。DVD シリーズ第15弾「2019年度版 漫才 爆笑問題のツーショット」発売中！TVCM「PRG「ジオ」」出演中（田中）。

日本エレキテル連合（橋本小雪・中野聡子）

貴女のトラウマ立ちなりクリ

見るものにトラウマを与える狂気のキャラ。ゴ全をトラウマっークのある世論のコンビ。ゴ全をトラウマっークのある世論をコメディ。『ゴ全の空のテ。』（ＴＢＳ）、『ゴ全の空のテ。』（ＴＶｔｏｕｂｅ）、

連載 UMAの手帖

イラスト・文
未カクニン動物愛好家
前田ばうこー（瞬間メタル）

第11回 妖怪・匂捻込（ニオイネジコミ）

夕方、何処からともなくカレーの匂いがして来るのを体験したことがないだろうか。

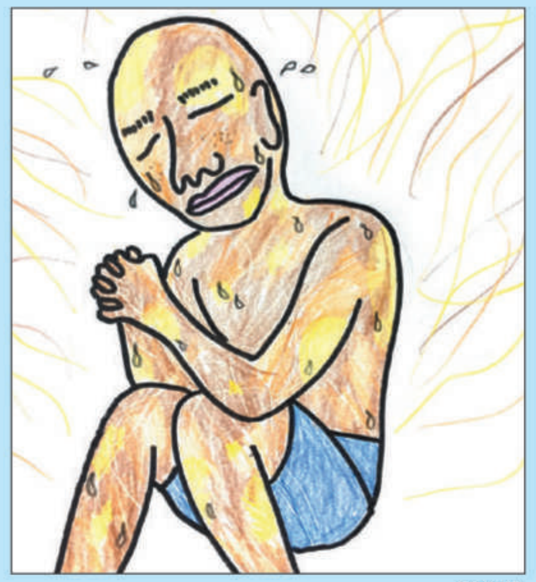
あれは妖怪・匂捻込の仕業である。自らの体から発する強烈なカレーの匂いを人々に容赦なく嗅がすことにより、人々の食欲を増強し空腹感を持たせることでストレスを発生させ、そのイライラ顔を見ることに生き甲斐を感じている妖怪である。

夕方になると住宅と住宅の狭い隙間に好んで潜み、匂いを発する。

その匂いの元は汗である。暑がりですぐに汗をかくため、匂いを出すのは容易なことである。その汗がカレールーに入っているのではないかとの噂もある程だ。

ちなみに、大好物はリンゴとハチミツである。

この妖怪・匂捻込、あなたの家の敷地にもいるかもしれない。↓



男（タケタリーノ山口）とミス東スポ2017の日里麻美さんがスポーツを語る番組「タイタン東スポ部」で、たま〜にナレーション担当。せやろがいッ！

瞬間メタルの男のショートフィルム

いぐち会議

イグチとダルマによるウエストランド井口のための

題字／井口浩之（筆ペン）

井口をDoにかしたいとホンキで思って委員会

ダルマ　いぐち会議、久しぶりだけど、ここ最近の井口はどんな感じだったのかね？

イグチ　井口の最近？　どうもこうも、特に変わりないんじゃないの？

ダルマ　楽しいことのひとつやふたつ、あるハズ。

イグチ　あるわけないじゃん。

ダルマ　他のタイタンメンバーは、単独ライブとかで忙しそうだよね。

イグチ　よくやるよねー。井口の持論は、単独は地獄。ネタ作りが大変なんだから。やりたくないって公言してるでしょ。

ダルマ　そうだったね…。

イグチ　芸人全員が単独をやりたいと思っている人が多いみたいだけど、それは違うから。井口はやりたくないと思っている芸人もいるってことをわかってほしいみたいだよ。

ダルマ　…そーなのね。わかった、話題を変えるよ。いま、お笑い界は“第7世代”という言葉がジワジワきてるみたいだけど…。

イグチ　若い世代が徒党を組んでやり出してるやつでしょ。ウエストランドも芸歴的には、その世代に入っているハズなのに、はじかれてるって井口が嘆いているよ。

ダルマ　はじかれてるの？

イグチ　三四郎さんとかと同じ世代だと思われてるの！　三四郎さんとはタメ（36歳）だけど、芸歴は4年ぐらい先輩なんだから！　ウエストランドがタイタンに入ったの2010年だよ。芸歴でいったら、第7世代の人たちと同じなのに…。まったく、おかしな話だよって、やっぱり井口は嘆いてるよ。

ダルマ　芸歴じゃなくて、単純に年齢で区切ってるんじゃないの？　フレッシュな20代。

イグチ　結局、そーゆーこと！　だから、井口はもう決めたらしい。いまから、井口の年齢は29歳にすることにしたらしいよ。

ダルマ　正式にサバを読むってこと？

イグチ　そう！　サバを読む。井口は29歳！

ダルマ　わかったよ。正式に第7世代の仲間入りできるといいね。

イグチ　井口はすでに第7世代の切り込み隊長だと思ってやってるみたいだよ。

ダルマ　そーなんだ。井口は確か、タイタン若手メンバーの切り込み隊長でもあったよね。

イグチ　だね。

ダルマ　色んなところに切り込んでいかなくちゃいけないから忙しいね。

イグチ　不貞腐れてる場合じゃないものー。

ダルマ　そういえば、井口の相方・フトッシーはどうしてるの？　テントサウナ温め日本代表としてフィンランドの決勝に行ったけど…。

イグチ　そもそもね、同じ時期にフィンランドで別の大会があって、うしろシティの金子さんとか芸人たちがこぞってフィンランドに行ってるんだから！

ダルマ　今年はフィンランドと日本の交流100周年にあたる記念イヤーだから、いろんなイベントが両国で開催されているんだよね。

イグチ　そーなの！　だから、あのヒトのフィンランド行きも見事にかすんじゃってるから！

ダルマ　それにうしろシティの金子さんは、ヘヴィメタル編み物選手権の世界大会で優勝しちゃったし（笑）。

イグチ　それに比べ、あのヒトは見事に予選敗退な！

ダルマ　フィンランドに行く前は、かなり自信があることを言ってたのに…。しかも饒舌に…。

イグチ　ただただフィンランドの大自然でキャンプを楽しんできただけ、という。

ダルマ　フィンランドの大自然に癒やされて、今後の仕事もがんばれるのでは？

イグチ　……………。今後の仕事ねぇ…。

ダルマ　9月には毎年恒例のぶちラジ公開収録イベントもあるからー。

イグチ　お客さんが男ばっかりのイベントね。

ダルマ　でも、“井口の愚痴＆主張”って、キャリア女性に響きそうな感じだけど…。

イグチ　確かに井口単独のトークライブには、ちゃんとした感じの女性の姿がちらほら。

ダルマ　でしょ。いつかオトナ女性に向けたトークライブを開けるといいよね。お客さんは、井口の愚痴を聞きながら、ワインでチーズとか生ハムとかを楽しむの。

イグチ　それ、いーかも。

井口はこんなカオしてるけど『29歳』（自称）だヨ

オトナ女性のみなさんの“出待ち”もお待ちしています！

「ウエストランドのぶちラジ！公開収録」〜ぶちラジの公開収録じゃ！5〜　9/13（金）新宿ロフトプラスワンで開催！（開場18:30 開演19:30）

連載 しげらしげら くぷんぷん

1ページまんが　作 キュウ・ぴろ

第4回「楽しくなっちゃった」

連載 進学塾講師歴13年！ ダーオシのタイタン的国語テスト

第6回「シティホテル3号室」問題つくりました一

シティホテル3号室 押田貴史

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今年の4月、日本エレキテル連合さんに「超大会」というライブに誘っていただいた。しかもありがたいことに、「押田をプロデュース」というコーナーまで設けてもらった。このコーナーはというと、僕（押田）を、方法・手段は問わずとにかく売れそうなキャラにプロデュースしてもらうというものだった。そして、共演者の皆さんにプロデュースしてもらった結果、「海鮮太郎」というキャラが誕生した。

この海鮮太郎というキャラだが、まずカニのような動きで「横歩き横歩き♪」と歌いながら下手（しもて）から登場する。時間をかけてセンターマイクの前まで横歩きをしていったら右手に持った本物の生タコを掲げ「タコでギャグ言いまーす！」と元気よく言う。しかしその直後、生タコを見つめながら「やっぱり無理だ…」と言い、タコを床に置く動作をしながら「オクト（置くと）見せかけてパス！」と客席の方にタコを差し出す。続けて左手に持ったタイを掲げながら「いや〜大失タイ（態）」と苦笑い。すると突然、股間にぶら下げた伊勢えびを前後にぶんぶん振り、「イセい（威勢）がいいですよー！」と奇声を上げ「エビ蔵（海老蔵）じゃありませーん！」と叫ぶ。そして左手のタイを一口かじり「のちにウンコになりまーす」と言い、「横歩き横歩き♪」でゆっくり上手にハケる、という具合だ。

文字に起こしてみても改めて意味が分からないが、結構ウケた。何がどうなってウケたのかは分からない。お客さんもいい感じにトリップ状態だったのかもしれない。ライブ直後に相方の亮太に会っていたら「本格的に海鮮太郎でネタを書いてほしい」とお願いしていたかもしれない。それくらいウケた。

そして、このコーナーでは海鮮太郎以上にウケたキャラがあった。生みの親はネコニスズ ヤマゲンさん。手に持った伊勢エビとウンコを見つめ、少し迷った後にウンコを食べるというキャラ。これがめちゃくちゃウケた。品のなさからキャラの誕生と同時に消えたが、とにかくウケた。

この「超大会」の後、数日経ってもウケの感触が忘れられなかった。そこで、エントリー制のライブにピンで出てウンコを食べるネタをやってみたが死ぬほどスベった。あきらめきれずに5月のタイタンライブレアのエンディングでもウンコを食べてみたがやはりウケなかった。どうやら、普通のライブでウンコを食べてもウケないようだ。もしかしたら海鮮太郎もあの日だけだったのではないかと心配になる。

だから、もう一度ピンでライブに出て「ウンコを食べるネタ」の尻ぬぐいをしてそのような心配を払拭して水に流すしかない。【　X　】。

問一 【　X　】に入る六字の言葉を考えて答えなさい。

いつのまにか10kgの減量に成功。肌質改善のため、食生活の見直し、規則正しい生活リズムを心掛けたら、自然と痩せていたらしい。

シティホテル3号室

わたしたち華なんてないけど、演技派なの…

河合亮太　押田貴史

第40回 ABCお笑いグランプリ決勝進出！

タイタンきってのダークホース!? 持ちネタ（コント）は250超え！

—前回のお話をじっくり伺ってから約1年。どのような1年間を過ごされていたのでしょうか。

亮太●ネタ作りについては、周りの評価にとらわれることなく、以前からやっていることを続けています。見た目は、急激に老けたかもしれませんが…。

—亮太さんの目力がムダに強くなっている印象が。一方の押田さんは、もしかしてお痩せになりました？

押田●肌のために、規則正しい生活を送っていたら、自然と10kgぐらい痩せました。コントで女性役をやることが多いんですけど、以前より「かわいくなった」と言われます。

—…そうですかねぇ（疑念）。確かに肌はきれいですが、押田女子キャラの顔面には、変更なく。むしろ安心していますが…。

押田●なんでだよ（笑）！　確かにライブの楽屋とかで芸人から「すげーブスだな」と言われますケド？

—それこそ押田さんの大事な“味”ですから。あと、そのサービス精神。謎の小気味よさ。心地良き。

—話を戻しますが、このたびのABCお笑いGPでの決勝進出について。若手芸人の登竜門のひとつと称される大舞台を経験されました。

亮太●壇上に上がったときのダークホース感がすごかったと自分でも思います。かつてない地味さ。

—特に決勝進出者の発表を伝えるネットニュースで公開された写真は笑撃でした。写っているはずの御二方が“いない”ように見えました。トリックアートなのかな、と。

押田●スバ抜けた無名感でしたよね。

亮太●無名トリックアートですよ。僕らは隣の人の華をも吸い取る力がありますから。

—スゴイ吸引力。

亮太●あのニュースで僕たちの宣材写真も紹介されたんですけど、その宣材がおかしなことになっていると、ある一部で話題になりまして…。

押田●意図していない笑いが起こる宣材写真。胡散臭いとか、笑顔がぎこちないとか、言われました（笑）。

亮太●周囲からの反響がスゴかったですね。

亮太●あの宣材写真の撮影のときこそ、地味だから何かをやらねばと、シャツを新調したり、押田は指し棒を買って臨んだら、現場で「宣材って、そういうことじゃない」って言われて。それで汗だく（冷や汗）になってしまい、毛髪の調子は悪いし、笑顔も硬いし。

押田●そういうミスをするのが僕たちっぽいことは確かなんですが。

亮太●結果的にそれでヨカッタと思います。ABCお笑いGPでの決勝進出で、あの宣材が少しだけ広まりましたから。

—個人的には、新調された宣材を見ても、特に違和感なく受け入れていたのですが…。

亮太●大丈夫ですか？　だいぶ毒されていませんか（笑）。

—いえ、御二方ならこーゆーのもアリと思っていたので。まさか、ミスだったとは思いもよらず…。

亮太●地味さをカバーしようとしたら空回り。というミスです（笑）。もう逆にこの地味さで目立っていきたいですけどね。

押田●お笑いステルス芸人というジャンルで。

—地味さを武器に。なによりコントも多くの方に知っていただけるといいですよね。

亮太●ネタの数は250以上。地域性などを選ばないものが多いので、全国どこの方でも見やすいと思います。最近、ようやくポップなものにも着手するようになったので！

押田●僕たちに興味をもってくださる方が増えることを願っています。

こーゆーのもあるんです…その1

こーゆーのもあるんです…その2

刑事ネタ多め

髪は増えないけどこーゆーネタは増やしていきたい（深刻）（真剣）

どこかで見かけたらよろしくね

不定期連載企画 ニュースなヒト。

ニュースのスケール大小関係ナシ。
気になる“ニュース”なタイタンメンバーを
勝手に！ 無理やり！ スポットライトを当てる企画

タイタン若手メンバーのコアなプロフィール企画「トリセツ」の記念すべき第1回を飾ってから1年。所属メンバーが増える中にあっても、地味で華のなさが際立ち、自他ともに認めるダークホース・ポジションに変わりナシ…だったが、若手芸人らによる異種格闘技戦、ABCお笑いグランプリ決勝という大舞台に躍り出た！　このまま“風”を吹かせたい（！）“ニュースな”2人を直撃。コントキャラをゴソッと画的に紹介しますー。

ナンだコレ？ 違和感ありまくり宣材写真の件

亮太氏は濃紺のシャツに赤のネクタイ。毛髪問題を抱えながらも、ツーブロック風の見たことのない髪型をされている。一方、押田氏は長年の塾講師バイトに寄せたのか、謎の指し棒を。改めてじっくり観察してみると、違和感ありまくりの宣材写真だった（笑）。彼らが思い描いていたコンセプトはナンだったのか。撮影当時、2人が気合いを入れて用意してきた衣装や小道具について、「どーゆーこと？　とりあえず、その棒は置いてみようか…」と、スタッフ陣から総ツッコミされたことで、本人たちはこれが新宣材に採用されることはないと思っていたらしい…。結局、コレを本採用したタイタンスタッフこそ、どーかしてません？　って話かもしれない…。

タイタンの学校だより

1期受講生 interview #1

芸人コース×一般コース

【参加メンバー】（写真左から ※敬称略）
芸人コース：鈴木大輔　松丸大祐（共にくらげピザ）
一般コース：古川佐恵　稲岡聡平（デザイナー）

タイタンの学校の特色のひとつ、芸人コースと一般コースの合同講義を体験した1期受講生が学校生活を振り返る。

迷走中のコンビを救ったのは一般コースの生徒たちだった

—芸人と一般の2コース併設の影響、合同講義で印象的なことについて。

松丸●学校が始まって中盤ぐらいまで控え目で、このまま何も爪痕を残せないまま終わっていくのかと、追い込まれていたときに、いくつかのきっかけはあるんですけど、もうあとは「ふざけるしかない」と決めて…。僕はもともとスベるキャラなんですけど、講義で前に出るしかないとなったとき、芸人コースだけだったら、ただただスーンとスベる可能性があったけど、一般コースの人たちが少しずつ笑ってくれたんです。そこから、ひとつひとつの講義をライブという感覚で、この講義はどう攻めようかと、いろいろ考えてから臨むようになったんですよね。

鈴木●合同の授業では、先に一般コースの生徒たちからリアクションが生まれて…。これがウケる、これが面白いということを常に体感しながら、いろいろ試していけたので、この状態は普通のシンプルなお笑い養成所では体感できないことだと思います。

松丸●芸人コースだけだったら、もしかしたら僕らは埋もれていた可能性があります。さまざまな感想のパターンがあるとは思いますが、僕らは一般コースの人たちがいてくれたおかげで、今があるという感じ。ネタの感想も、専門の講師の方とは違う意見をもらえたりして、新鮮だったし、役に立ちましたから。

鈴木●なんなら、一般コースのほうがヘンな人たちが多かったからね（笑）。芸人コースには、がっつり会社員もいるし、一般コースには働いてない人もいた（笑）。それに、いろんな職種の人がいて、それぞれ自分の意見を持っている人が多かった。

稲岡●一般コースは、スベるスベらないのハードルが低いからかもしれないけど、講義中、一般コースだけで盛り上がっちゃうこともしばしば。

松丸●古川さんは「目的なく学校に来た人」で認識されてましたよね（笑）。

古川●そう。目的ないまま、学校に入学したの（笑）。だから、特に最初の頃は、「自分がここにいていいのかな？」と思ってましたよ。

松丸●でも、最後の講義で古川さんは大熱唱されてました（笑）。

古川●いや私、あんな子ちゃうねん！

鈴木●何も目的なく入って来た人が、あそこまで自分を“解放”するなんて、なかなかないですよね（笑）。

古川●それはくらげピザの2人がいてくれたから！　彼らならなんとかしてくれるという思いがあったからです。

稲岡●でも、確かに一般コースとの合同講義で、盛り上げていこうとやり始めたのが、くらげピザでしたよね。

古川●2人が盛り上げてくれたからどの講義も楽しくなったのは確か。

鈴木●僕らこそ楽しかったですよ。ホーム感が生まれいく様子とか見られたりして。一般コースは芸人コースにかなり影響を及ぼしたということです。一般コースの人たちに味方になってもらったほうがイイってことに気づいたんでしょうね。

学校生活は、未来に向けてたくさんの種を撒く時間

—改めて、学校に通って良かったことについて。

古川●目的なく入学しましたけど、とにかく楽しい学生生活でしたね。

稲岡●僕はもともとデザイン業で、雑誌のレイアウトを長くやっていて、仕事の幅を変えたいという思いと、お笑い好きだったので学校に入りましたけど、これがすぐに直結するとは思っていません。修了式後の全体打ち上げで太田理事長がおっしゃってたのですが、「この世界で生きているとちょっと仲良くなってから、疎遠になってもまた10年後ぐらいに仕事が始まることがあったりする」と。きっとそういうことがあるんだろうなと思えた半年間。その種がいっぱい撒かれた気がします。

3期 近日募集開始
※詳細はサイトにて

タイタンの学校HP

※インタビューのロングバージョンを「タイタンの学校」公式サイトにて公開中！